## 貸借対照表

[ 平成31年3月31日 現在 ]

日本海建興株式会社

(単位:千円)

日本海建興休式会任 科 目			金	額		=	科		目			金	額
V/m+			ZIV.		<i>h</i>			حال				712	帜
<b>資</b>	産の部				負	債	の	部					
流	動資	産			流	勇		負		債			
	現 金 予			261,350		工	事			金			573,996
	受 取	手 形		33,036		短	期	借		金			260,000
	完成工事未	収入金		1,425,294		未月	成 工	事	受入	金			290,812
	未成工事习	支出 金		727,231		賞	与	引	当	金			169,065
	そ の	他		9,965		未	払沒	ち 人	、税	等			99,182
	流動資産	合 計		2,456,878		そ		$\mathcal{O}$		他			54,206
						流真	動負	債	合	計			1,447,262
固	定資	産			固	匀	È	負		債			
有	形 固 定	資 産				長	期	預	り	金			48,985
	建 物 • 構	築物		269,752		退耳	戠 給	付真	引当	金			233,299
	機 械 • 運	搬具		21,991		固力	定負	債	合	計			282,285
	工具器具	• 備 品		16,682	負		債		合		計		1,729,547
	土	地		400,172									
	有形固定資	産 計		708,599	純	資	産	$\sigma$	部	3			
						朱	主	鶑	<b>}</b>	本			
無	形 固 定	資 産				資		本		金			200,000
	そ の	他		4,135		資	本	剰	余	金			
	無形固定資	産計		4,135		貨	至才	ス 学	隼 備	金	<u>&gt;</u>		759
				•		資	本	剰余	金	合計	<u> </u>		759
投	資その他の	) 資 産				利	益	剰	余	金			
	投資有価	証 券		171,470		禾	训	<u> </u>	隼 備	金	<u> </u>		50,000
	H 118 175	付 金		3,968					益剰র				,
	その他投			29,294					積立		È		380,000
	その	他		730					J 山益剰				994,769
	貸倒引	当金		△ 20,000		禾			金 ·		ľ		1,424,769
	投資その他の			185,463					本 1		ľ		1,625,529
	固定資産	合計		898,198	純	<u>^</u> 資		<u>へ</u> 産	<del>」</del> 合		計		1,625,529
資		<del>- 1 - 11 -</del> 合	<u></u>	3,355,076		<del></del>			· 産		計		3,355,076

## 個 別 注 記 表

( 平成30年4月 1日から) 平成31年3月31日まで)

- 1. この計算書類は「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。
- 2. 重要な会計方針
  - ①資産の評価基準及び評価方法

有価証券・・・・移動平均法による原価法を採用しています。

②固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定率法を採用しています。ただし、平成10年4月1日以降に 取得した建物(建物附属設備を除く。)並びに平成28年4月1日 以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を 採用しています。

無形固定資産・・・定額法を採用しています。

③引当金の計上基準

退職給付引当金・・従業員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく期末要

支給額により計上しています。

賞与引当金・・・・従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を

計上しています。

④収益及び費用の計上基準

完成工事高及び完成工事原価の計上基準

工事進行基準・・・当期末までの進捗部分について成果の確実性が認められる

工事(工事進捗率の見積は原価比例法)を計上しています。

工事完成基準・・・その他工事を計上しています。

⑤その他計算書類の作成のための基本となる重要事項 消費税等の会計処理・・・・税抜方式によっています。

3. 貸借対照表に関する注記

①有形固定資産の減価償却累計額

1,037,695 千円

- 4. 株主資本等変動計算書に関する注記
  - ①当該事業年度の末日における発行済株式の種類及び総数

普通株式

4,000,000 株

②当該事業年度中において行った剰余金の配当に関する事項

平成30年6月15日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する

事項は次の通り決議されました。

配当金の総額14,000 千円配当の原資利益剰余金一株当たりの配当額3円50銭

基準日 平成30年3月31日 効力発生日 平成30年6月18日

③当該事業年度の末日後に行う剰余金の配当に関する事項

令和元年6月14日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する 事項を次の通り提案しています。

配当金の総額 20,000 千円 配当の原資 利益剰余金

一株当たりの配当額 5円

 基準日
 平成31年3月31日

 効力発生日
 令和元年6月17日